

ICPC Summer camp 2012 Day 4

# 問題 D

# Do use segment tree

原案: 森

解答例: 森、平澤

問題文: 平澤

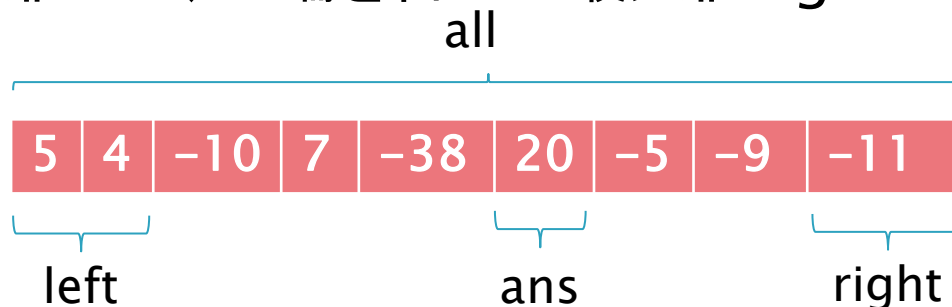
解説: 森

# 問題

- ▶ 頂点数 $n$ の木 $G$ が与えられる
- ▶ 各頂点のコストは $w_i$
- ▶ 以下の2種類のクエリが合計 $q$ 個あるので捌け
  - パス $a-b$ に含まれる頂点の重みを $c$ に変更する
  - パス $a-b$ に含まれる頂点の重みを列にした時の部分和の最大値を出力せよ
- ▶  $1 \leq n \leq 200,000$
- ▶  $1 \leq q \leq 100,000$
- ▶  $|w_i|, |c| \leq 10,000$

# 解法 (数列の場合)

- ▶ とりあえず数列で考えてみる
  - さらに更新はa-aのみの場合
- ▶ クエリの見た目からどうせSegment Treeで解けそう
- ▶ Segment Treeの各ノードに必要な値を考える
  - その区間の最大値ansは絶対必要
  - その区間の合計allも必要そう
  - 左端を含んだ最大値left、右端を含んだ最大値rightがあれば便利



# 解法 (数列の場合)

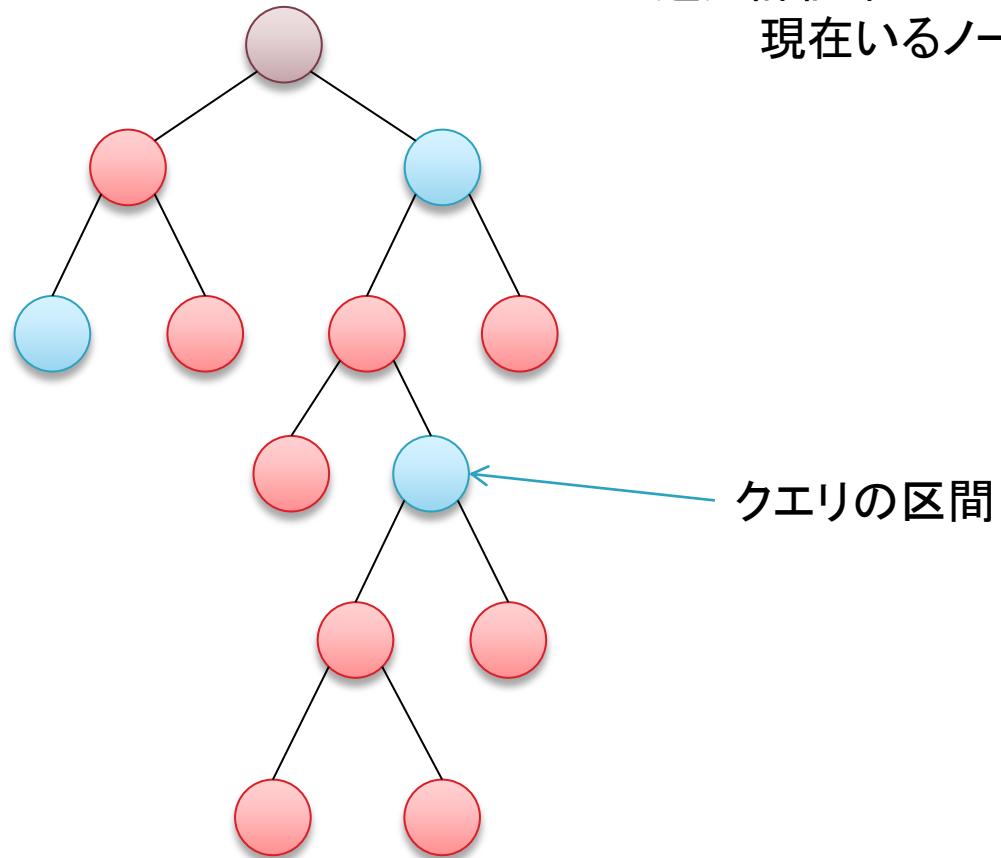
- ▶  $ans, all, left, right$ があれば十分
- ▶ Segment Treeの性質から隣り合った区間のノードからマージされた区間のノードが作れば良い
  - $m.ans = \max(l.ans, r.ans, l.right + r.left)$
  - $m.all = l.all + r.all$
  - $m.left = \max(l.left, l.all + r.left)$
  - $m.right = \max(r.right, r.all + l.right)$
  - ただし、 $l$ が左の区間、 $r$ が右の区間、 $m$ がマージされた区間

# 解法 (数列の場合 with 範囲更新)

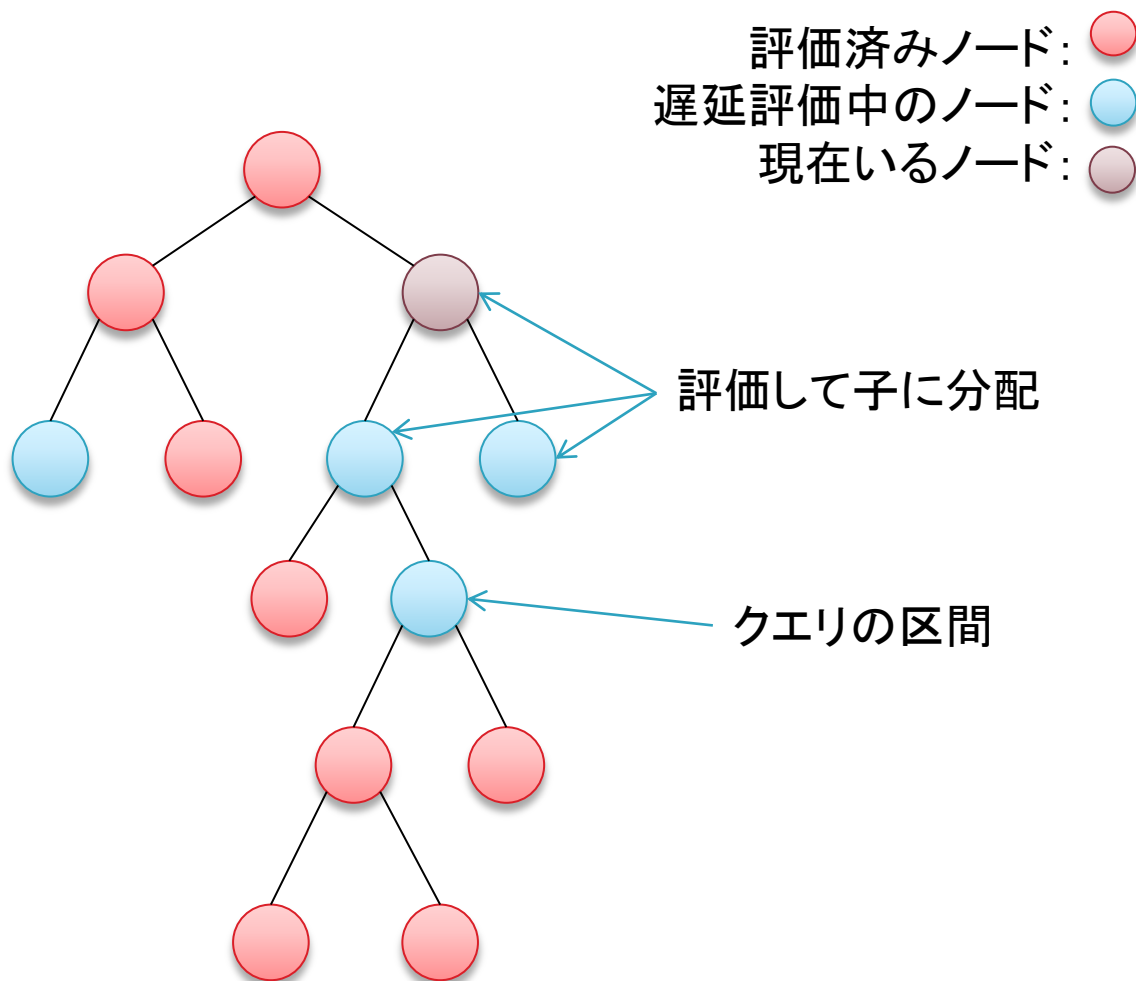
- ▶ 範囲更新があると値の更新が $O(\log n)$ でできない？
- ▶ 遅延評価を使おう！
  - 更新する区間とピッタリ合う場所とその祖先だけを更新
  - 更新した区間を通る時は1つ下の子だけを前もって更新

# 遅延評価の例

- 評価済みノード: ●
- 遅延評価中のノード: ●
- 現在いるノード: ●

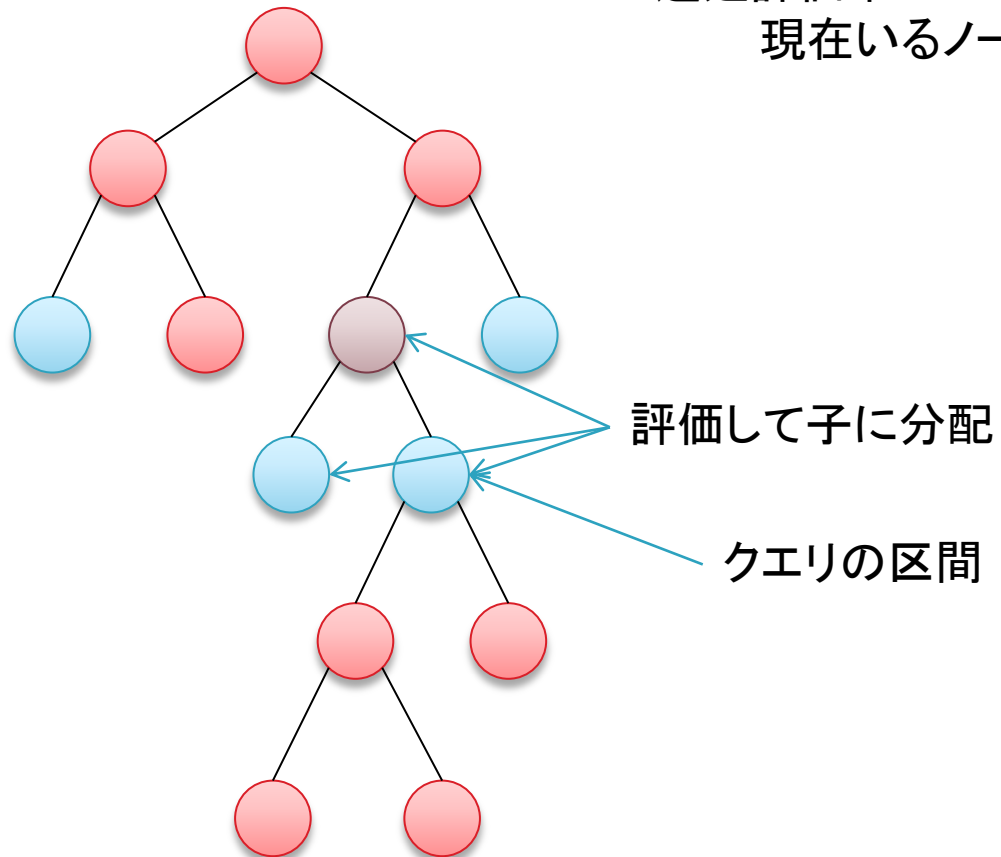


# 遅延評価の例



# 遅延評価の例

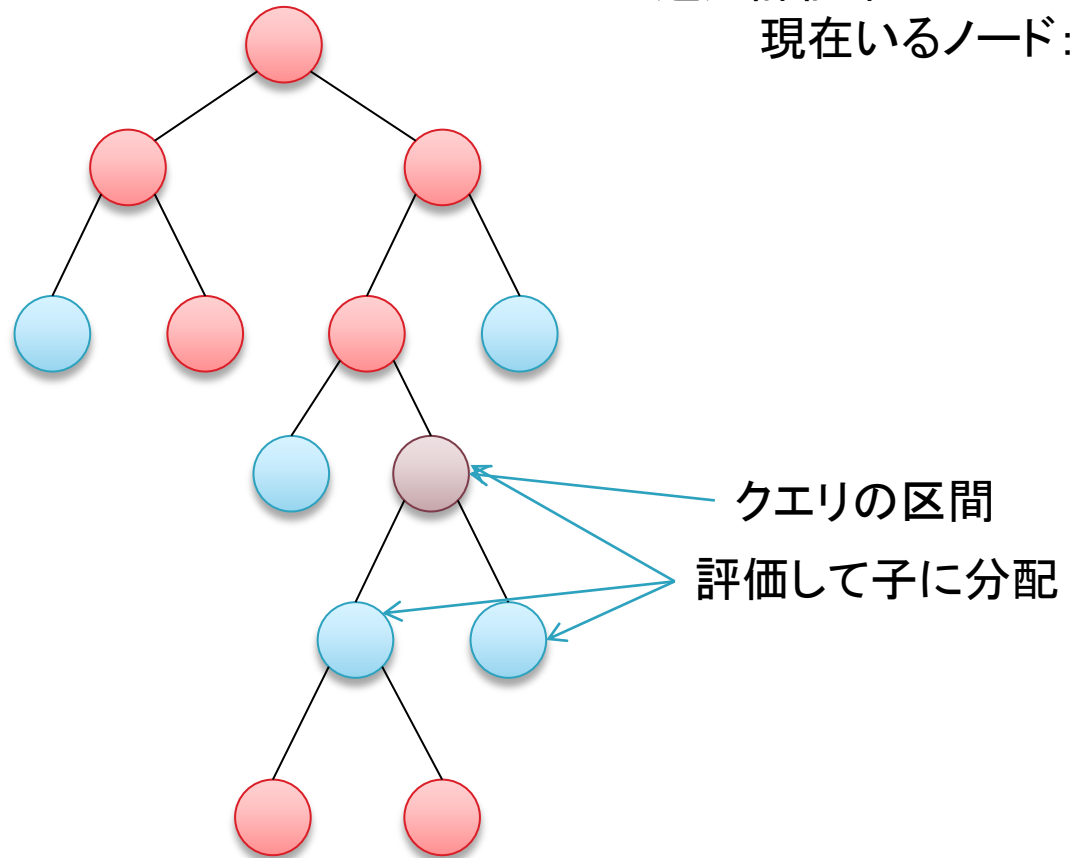
- 評価済みノード: ●
- 遅延評価中のノード: ●
- 現在いるノード: ●





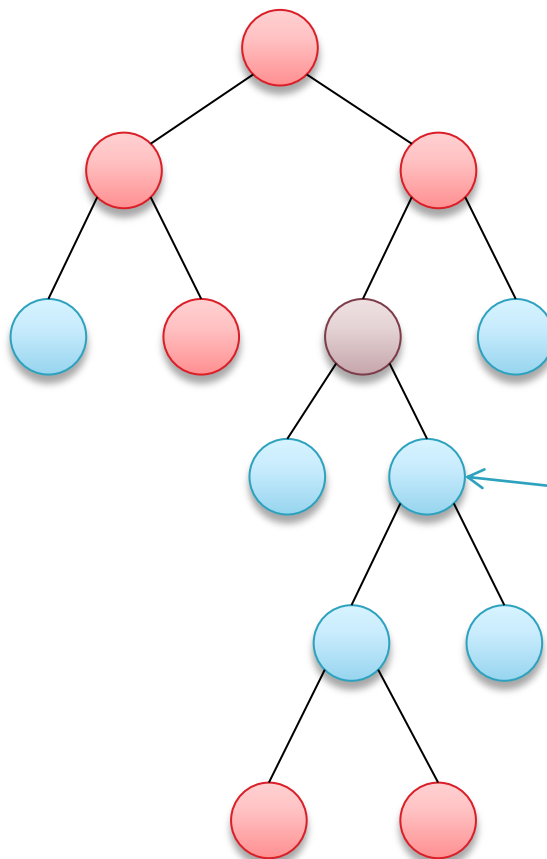
# 遅延評価の例

- 評価済みノード: ●
- 遅延評価中のノード: ●
- 現在いるノード: ●



# 遅延評価の例

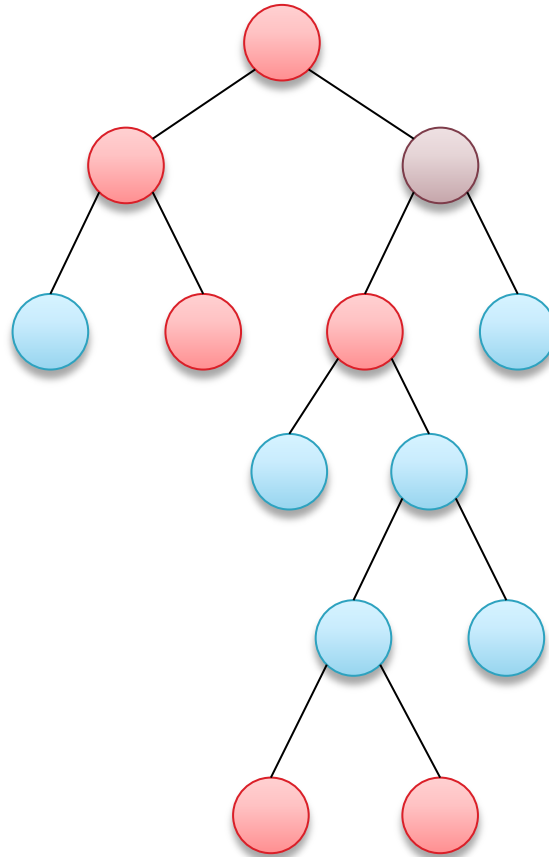
- 評価済みノード: ●
- 遅延評価中のノード: ●
- 現在いるノード: ●



遅延評価のフラグを立てて  
マージしながら戻る

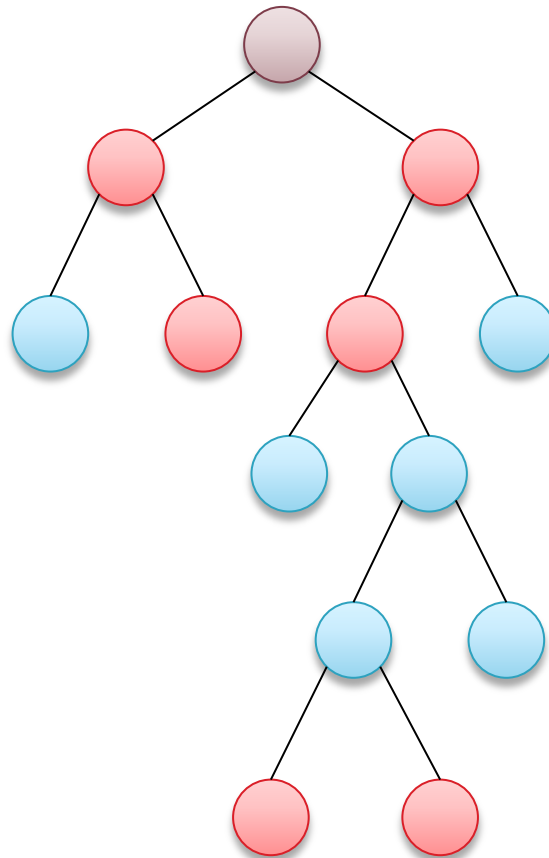
# 遅延評価の例

評価済みノード: ●  
遅延評価中のノード: ●  
現在いるノード: ●



# 遅延評価の例

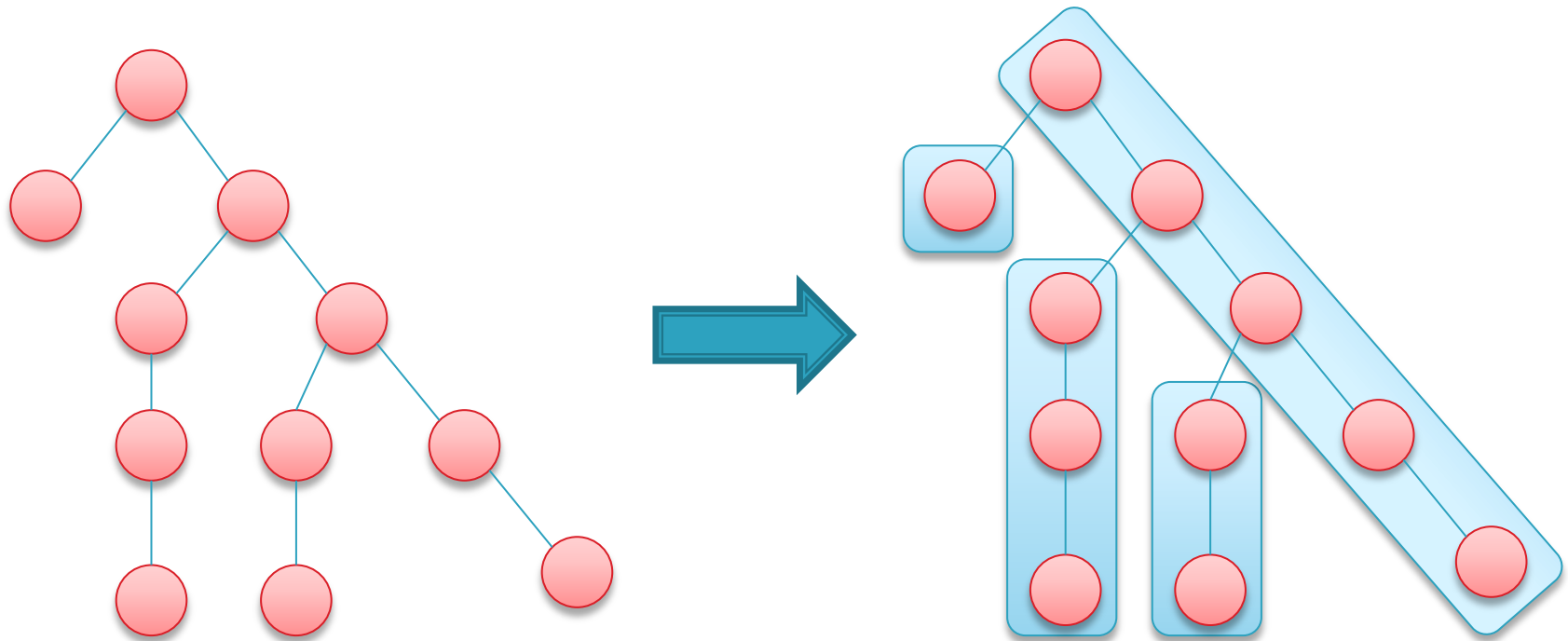
評価済みノード: ●  
遅延評価中のノード: ●  
現在いるノード: ●



# 木の場合

- ▶ 数列ができたので木の場合を考える
  - 木が列みたいなので考えられるとよさそう
  - Heavy Light Decompositionを使えば良い
- ▶ 木を複数の鎖に分割するアルゴリズム
  - 部分木のサイズが最もでかいやつをHeavy Edgeで結んで鎖にする
  - 他はLight Edgeで結んで再帰的に処理
  - 再帰の深さは $O(\log n)$
- ▶ 格鎖に対してSegment Treeを持たせれば、クエリを高速に処理可能
  - 同じ鎖になるまで区間をマージしながら深い方を上にのぼらせていく感じで

# Heavy Light Decomposition



# まとめ

- ▶ 木をHeavy Light Decompositionする
- ▶ 各鎖に対してSegment Treeを対応付ける
- ▶ 各クエリに対してパスを見つけSegment Treeから答えを計算
  - Segment Treeは遅延評価で範囲更新する
- ▶ 計算量は $O(n + q \log^2 n)$ 
  - がんばれば2乗は消せるかもね
- ▶ 実装はたいへん
- ▶ 動的の木を使っても解けるかも

# 注意点

- ▶ Heavy Light Decompositionする際に部分木の深さで計算すると再帰の深さが $O(\sqrt{n})$ になる入力が存在する
- ▶ グラフをdfsするとスタックオーバーフローする
  - 8MBだと再帰10万回はぎりぎりセーフかも、それ以上だと死
- ▶ 出力のクエリに答えるときに一番上の鎖での処理に注意
  - Segment Treeのノードのleft,rightを片方逆にしないとダメ



# ジャツジ解

- ▶ 森
  - 352行 9600B
- ▶ 平澤
  - 323行 10500B

# 結果

- ▶ First AC
  - mithril (189分)
- ▶ AC / Submit
  - 1 / 6 (17%)
- ▶ AC / Trying people
  - 1 / 2 (50%)